

福山大学 大学教育センター 大学教育論叢
第3号（2016年度） 2017年3月発行

「備後に学ぶ地域の課題」 報告書

教養教育科目 F 群「備後に学ぶ地域の課題」

平成 28 年度実施報告

共同利用センター 鶴崎 健一

本学では、地域に貢献できる人材を輩出するために、共通教育科目の教養教育科目群として「F 群（地域学）」を設置している。F 群の充実は重要な課題であり、平成 27 年度から「備後に学ぶ地域の課題」という科目を設置した。設置から 2 年目の実施内容について報告する。

平成 28 年度の実施概要

平成 28 年度は、前年に引き続き、福山市環境経済局環境保全課に協力いただき、芦田川をテーマにした授業を展開した（参考資料 1）。講師も引き続き、福山市環境経済局環境保全課 清水直樹課長にお越し、鶴崎と企画・実施した。

今年度も、昨年度同様、福山市が企画するふくやま環境大学の芦田川見学ツアーに参加した（10 月 1 日）。それまでの 2 回の講義で、目的や授業展開の方法の説明、清水直樹氏による芦田川の現状の説明、3 チームに分かれ、各グループで課題の検討を行った。

10 月 1 日は、8 時 30 分に福山駅を出発し、八田原ダムに向かった。残念ながら、雨の中での見学となった（写真 1）。昼食後、芦田川見る視る館に行き、河川の浄化施設の見学、簡易水質検査の実習を行った（写真 2・3）。実習の後には、ふくやま環境大学の方も交えて、4 つのグループに分かれ芦田川の環境改善などについてグループ討論を行った。それぞれのグループから報告があったが、受講した学生もしっかりと発表していた。16 時に福山駅に戻り、解散した。

その後の講義やグループワークは、7 号館 2 階プロジェクタラウンジで行った。事前に決めた 3 つのグループ（「イメージアップチーム」「今と昔チーム」「生物チーム」）に分かれて企画を検討してもらい、企画案を作成した（写真 4～6）。「イメージアップチーム」は「芦田川のイメージを刷新するようなポスターの作成」、「今と昔チーム」は「みんなの知らない芦田川というタイトルの芦田川にまつわる歴史を載せたパンフレットの作成」、「生物チーム」は「芦田川にすむ魚の消しゴムのガチャガチャ」であった。そして、最終回には、それぞれのグループの企画案について発表を行った（写真 5～7）。

講義終了後には、Cerezo を通じて、レポート課題、授業アンケートを行った。

平成 28 年度の成果・課題について 受講者について

平成 28 年度の受講生は、初年時より増え、12 名であった。グループワークの指導には適した人数ではあった。しかしながら、芦田川見学ツアーに遅刻した学生がいたこと、途中で授業を放棄したり、取り消したりした学生が出たことなど、初年時にはなかった問題も生じた。「学生からの感想、意見」にあるように、最後まで受講した学生からは、否定的な意見は無かったが、事前指導の一層の徹底が必要と感じた。



写真 1 八田原ダムで説明を聞く様子



写真 2 芦田川見る視る館での見学



写真 3 芦田川見る視る館での討論の様子

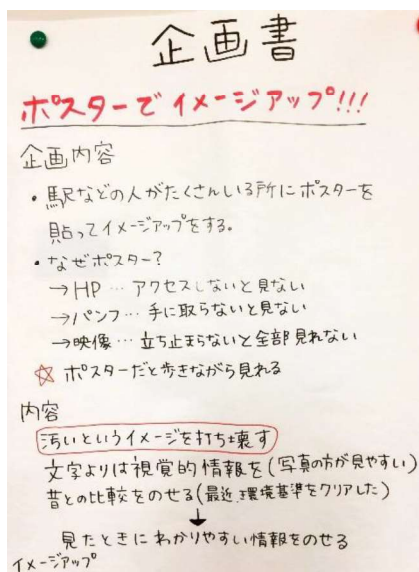


写真4 企画書(イメージアップチーム)

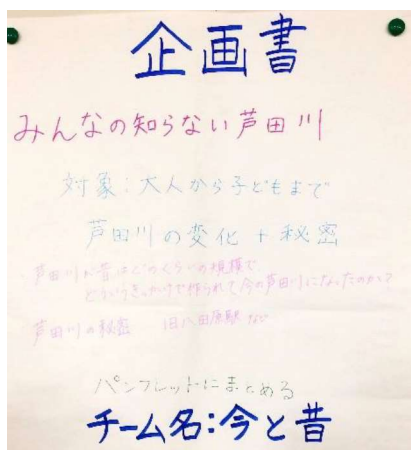


写真5 企画書(今と昔チーム)

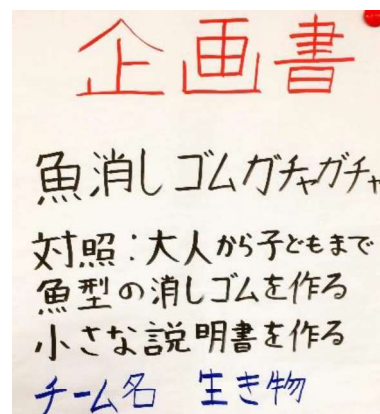


写真6 企画書(生物チーム)



写真7 イメージアップチーム(ポスター原案)



写真8 今と昔チーム(芦田川紹介パンフレット原案)

成果物の作成・発表について

成果物については、昨年は、企画内容をもとに完成させることを目標に行ったが、時間的な制約もあり学生にとっても不完全燃焼のようだったので、今回は、企画案を作るところまでとした。ほぼ、目標は達成できたのであるが、教員の要求したい内容と、学生の達成したい内容に若干の差が今回はあったように思う。教員としては、もう一工夫すればより良いものになる、あるいは、福山市との協働で実現できるかもと思わせる企画案もあり、出来る限りの誘導を行なった。しかしながら、学生は、あくまで授業の枠内でのことと割り切っているようで、企画の実現に向けて授業外での継続を促したが、手を挙げた学生はいなかった。福山市との協働事業という意味では、授業の枠を超えた協力関係を構築できることが理想であろう。学生の成果を、授業以降にどのように繋げていくか、課題が残った。

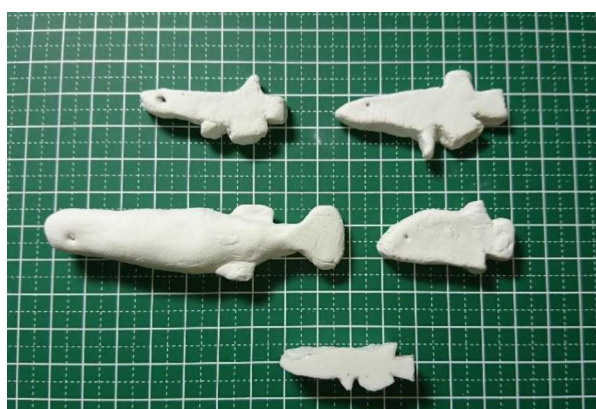


写真9 生物チーム(芦田川魚ガチャガチャ原案)

継続を促したが、手を挙げた学生はいなかった。福山市との協働事業という意味では、授業の枠を超えた協力関係を構築できることが理想であろう。学生の成果を、授業以降にどのように繋げていくか、課題が残った。

学生の授業評価

学生の本講義の満足度は、概ね良好であった（満足 3 名・ほぼ満足 4 名・どちらとも言えない 2 名）。満足度が低めの学生が、「見学したあとのまとめの時点でなにをするのかもっと事前に明確にしていたらよかったと思います。」と記述していた（参考資料 3）。実際には、授業中に何度も説明していたのだが、うまく伝わっていなかったようだ。学生に理解しやすいよう工夫を考えたい。

授業の適切性については、「比較的、簡単であった」が 2 名、「適切であった」が 7 名であり、学生にとって適切と思える内容であったと考えられる。

また、学生の感想（参考資料 3）には、昨年同様、芦田川に関する知識が習得できただけでなく、グループワークでの積極性、主体性がいかに重要かを理解できたとの記載もあった。この点については、本講義の到達目標が達成できたと思う。

一方で、提出されたレポート内に、「企画案作成時に、授業時間以外での学生間連絡が不十分で、もう少し SNS などを利用すれば良かった」との記載があった。授業の際に、Cerezo のプロジェクトの機能を紹介し、利用を促したのであるが、あまり積極的に利用した形跡がなかった。学生が主に利用している LINE など連絡を取っていることも期待していたのだが、このような記述があるということは、必ずしも教員の思惑通りに進んでいなかったことになり、残念な結果であった。授業の狙いとしても、授業時間以外をいかに使ってもらうかが重要で、指導方法にさらなる工夫が必要であると感じた。

平成 28 年度も、27 年度に続き、福山市環境経済局環境保全課の清水直樹氏の献身的なご協力によって、無事に授業を展開することができた。清水氏には、非常に感謝している。平成 29 年度も福山市環境経済局環境保全課と協働で、「福山市次世代エネルギーパークの活用」を題材として実施する予定である。より充実した授業内容を目指し、学生の地域貢献の意識を高める一助となるようにしたい。

（参考資料 1）シラバスの概要

講 義 名	備後に学ぶ地域の課題		
開講期・曜日・時限	後期・水曜・5 時限 他	単位数	1 単位
授業のねらい、概要	備後地域の様々な課題を題材に、学外調査やグループワークなどを行なうことで地域社会への貢献のあり方を考えていきます。本年度は、福山市環境経済局環境部環境保全課の協力のもとに、福山市を流れる芦田川について考えます。福山市では芦田川の水質について、報道等でワーストワンというイメージ先行で取り上げられているため、芦田川本来の良さが伝わっていないという問題を抱えていますので、そのイメージを払拭するために以下の案のような施策（アイデア）を考えます。		
授業（学習）の到達目標	地域を育み、地域に貢献する精神を身に付けることを目指します。グループワークや学外活動を通じて、コミュニケーション能力を身につけることを目指します。		

（参考資料 2）各回の授業内容

授業回	授業内容
第 1 回 9 月 21 日	ガイダンス（本講義の目的・進め方などの説明） 福山市を流れる芦田川の現状について
第 2 回 9 月 28 日	芦田川のイメージアップのための施策を考える 1 課題の説明・グループ分け・自己紹介・課題の整理・行事参加の分担
第 3～5 回 10 月 1 日	ふくやま環境大学（芦田川～水の旅～） 八田原ダムから河口まで・水のゆくえ・芦田川の生物
第 6 回 10 月 5 日	芦田川のイメージアップのための施策を考える 2：成果物の構想 ふくやま環境大学での知識の整理・課題の洗い出し・課題解決方法の検討
第 7 回 10 月 12 日	芦田川のイメージアップのための施策を考える 3：成果物の作成 施策の具体的な検討・成果物の作成
第 8 回 10 月 26 日	芦田川のイメージアップのための施策を考える 4：成果発表と討論 グループ発表・ふりかえり・理解度チェックテスト・レポート課題説明

(参考資料3) 学生の感想、意見

みんなと協力して企画に取り組むというのはとても楽しかったし、プレゼンの能力や発想力、様々なものを養うことが出来た。メディア学科なのでそういう事に1年の間に携われたというのは本当に貴重な体験だった。
楽しく授業をすることができました。
実際にダムを見にいったことがなかったのでとてもいい経験になりました。芦田川を綺麗にするために自分のできる事をやっていこうと思います。
実際に見たことのない芦田川の上流にあるダムなどを見ることができたのでとても楽しかったです。見学したあとのまとめの時点でなにをするのかもっと事前に明確にしていただけたらよかったと思います。ありがとうございました。
ダムの見学では、普段は体験出来ないような事が出来て、貴重な体験が出来たと思います。県外から来て、自分の中では芦田川の事について全く情報がなく、自分の為になった授業でした。
芦田川について知ることが出来たし、プレゼンやコミュニケーションがいかに難しいか改めて分かった。今後の授業や活動に活かせるのではないかと思います。
最初は、どんなことをやるのか不安だったけど芦田川について学べたり、川の水質についてやダムのことについてなどいろいろなことを学べて楽しかったです。
実習も行ってみたら思ったより楽しくてよかったと思う。グループワークもやりやすい環境にありよかった。
グループワークの難しさがよく分かった。